



特集

進化する造船業

- 4 日本の造船と
海洋産業のこれから
 - 6 攻勢に出た
日本の造船業
 - 7 特別寄稿 技術力で世界へ
 - 8 海洋開発の
国際競争に挑む
 - 10 未来をつくる
人材育成にも力を
 - 11 新たな教育基盤を
生み出す挑戦
-
- 12 業務密着ルポシリーズ File.35
現場力
 - ・大阪航空局福岡空港事務所
 - ・福岡航空交通管制部
 - ・航空交通管理センター
 - 16 教えて! ヒストリー vol.3
航空管制
 - 18 シリーズ探訪・探求
訪れたいまち 第33回
長野県上田市
-
- 21 道の駅
もてぎ(栃木県)
遠野風の丘(岩手県)
 - 22 MLIT体験レポート
子ども霞が関見学デー
ゲスト 小笠原舞さん
小竹めぐみさん

本誌の掲載文で、意見を述べた部分については、執筆者の個人的見解であることをお断りいたします。また、本文記載記事の無断転載を禁じます。

表紙より

今治造船・広島工場のコンテナ船

進水を終えた全長366mの1万4千個積み大型コンテナ船。詳しくは6ページをご覧ください。



特集

進化する造船業

かつて世界の船舶建造のシェアを50%占め「造船大国」と呼ばれた日本。
オイルショックや円高などの厳しい状況にあっても、日本のメーカーは技術を磨き続けてきました。
環境配慮や海洋開発による特殊船舶の需要が高まる昨今、
日本の高い技術力が再び世界の注目を集めています。
日本の造船と海洋産業の未来をのぞいてみましょう。



広島県三原市にある今治造船広島工場 (p.6参照) の空撮写真。瀬戸内海の穏やかな海は造船に適しているため、同県の福山市・尾道市・呉市の海岸にも数々の造船所が連なり、造船業は地域住民の暮らしに根ざした存在となっている。